

ニチイのほほえみ土井はなみづき

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	11	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に根ざした暮らしを提供することを独自の運営理念とし、日常の買い物や散歩を随時行い地域社会への参加に努めている。又、地域のボランティアの受け入れを行っている。	1	お客様各自のニーズに合う（手芸など）個別のボランティアの受け入れに努め（希望者のみ）地域になじみの知り合いがいる様な環境を整えていきたい。
		2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の朝礼にて運営理念の唱和を行い、意識しながら業務に遂行するよう努めている。	1	ホーム会議やユニット会議にて、理念の実践に向けての話し合いを密に行い共有意識を強めていきたい。
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議や毎月発行しているホーム通信紙などを活用し理解して頂ける様に努めている。	0	
		2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	2	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	毎朝のゴミ捨て場の清掃や地域の清掃活動日にはホーム周辺を清掃したりしており、気軽にお声をかけて頂いている。又、お会いしたら笑顔で挨拶するようスタッフへの意識づけもできている。	0	
		5	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入している。運営推進会議にて地域の方々との意見交換の場を設けている。	1	公民館などの活動にも参加していきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づき運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	回覧版にて認知症について説明を行ったり 地域の居宅事業所、病院などを訪問し地域貢献に努めている。地域の方々からのご相談の お電話に対応している。	1	自治会が活動している独居の高齢者への活動などにも参加していきたいと考慮している。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	2	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム会議にて外部評価の意義についての話し合いを行ったり、改善点の指摘について改善方法を話し合ったりしている。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族、地域代表の方からの意見を取り入れ記録に残し、現場での会議にてスタッフに落とし込んでいる。又、外部評価の前には運営推進会議にて自己評価の資料を配り報告を行ったり、評価後にも報告会を行っている。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事故発生時や不明な点が発生すると、報告や相談を行い連携を図っている。	1	地域包括支援センターとの連絡体制などを密に行い連携を図り地域貢献における関わり方について相談していきたい。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ホーム会議などにおいて勉強会を開催したり必要な方にお渡しできるよう資料を準備している。管理者は研修に参加し基礎知識を学んでいる。	1	定期的に勉強会を開催していないので、入社したてのスタッフは理解できていないので定期的に勉強会の機会を作り共有を図りたい。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム会議やユニットカンファにて勉強会を行い虐待防止については全スタッフ意識づけが行えている。又、各ユニットの管理者は細心の注意と配慮、スタッフへの指導を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	2	
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前には、ご理解いただいた後に契約を交わしている。質疑応答の時間も確実に確保している。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置したりし努めている。又、苦情に関しては改善できるよう話し合いを持っている。苦情に関しては記録に残し、改善に努めている。	1	管理者や職員には遠慮され、ご家族にお話されている方もおられるため、何でも言える様な信頼関係の構築に努めていきたい。
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム通信紙にて個別の報告を行ったり、職員の異動についてもあいさつや報告を行っている。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時にホーム外の苦情窓口のお知らせを行ったり、玄関に苦情窓口の掲示を行い、苦情を頂いた際は改善できるよう記録に残し、運営の反映に努めている。又、玄関に意見箱を設置し遠慮なく申しでて頂ける様、努めている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム会議やユニットカンファレンスにて意見の提案を聞く機会を設けている。又、日頃、密に職員とのコミュニケーションを図る機会を設け意見を引き出せる様に努めて運営に反映できるよう努めている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	柔軟に対応できるよう人材の確保、勤務時間においてはスタッフからの人材が多く必要な時間などを聞きいれたりし作成している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるよ うに、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利 用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職希望者には個別に話し合いを持ち、離職を必 要最小限に努められる様に努力している。	1	在職期間が長くなればなるほど、資格取得した り、自分のスキルに合う給与先に行かれたり個別 の対応はしているが離職率の軽減は思うように図 れていない。
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価 6 項目・外部評価 4 項目	3	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や 年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生 きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよ う配慮している	面接においては、本人の人柄や経験、体調などに 観点を持ち採用判断している。又、スタ ッフがいきいき働くことができるよう、自分の 意見を伝えることができるように配慮している。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するた めに、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	ホーム会議などにおいて人権教育を行ったりして いる。	1	管理者は市区町村において定期的に開催されてい る講習に参加したりし啓発活動に取り組んでいけ るよう職員に指導できるよう取り組んでいき たい。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をた て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニン グしていくことを進めている	各職員のケアを見守り、必要な点は助言や指導を 行っている。又、経験年数に応じて資格取得のア ドバイスを行ったりしている。外部の講習 会の案内を事務室内の掲示板に掲示したりし参加 を呼びかけている。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、 ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービ スの質を向上させていく取り組みをしている	研修や講習会などに参加し同業者との交流する機 会を持てる様にし、意見交換などを行いホームの 質の向上に努めている。又、定期的 に他事業所へ訪問し意見交換などを行っている。	1	他事業所との勉強会を開催したりし、ネットワ ークの構築作りを行っていき、更なるサービスの質 の向上に努めていきたい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境 づくりに取り組んでいる	会議にてストレス確認テストを行ったり、各職員 とのコミュニケーションにてストレスの原因の探 求に努め、軽減できるよう配慮している。又、会 社の組合活動においてメンタルケアの窓口が設置 してあり、職員は全員利用することができるよ うになっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	頑張ってくれている部分は誉め、感謝の言葉をかけるように努めている。ホーム会議にて資格取得について説明したり向上心を持って働きつづけられる様に取り組んでいる。	1	各職員、何が本人の向上心に結びつくか違うので個人面談や日頃の会話にて更にリスクマネジメントを行っていきたい。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	1	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく り と そ の 対 応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前にはアセスメントや本人様に関する情報を集め、本人や身近な方から話を聞く機会を作っている。不安軽減に努めたり、本人様の言動や行動は記録に残し、職員にて共有し信頼関係構築に努めている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前後、入居中においても家族の方とのコミュニケーションを面会時や遠方の方は電話などを利用し機会作りに努めている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族からの話にて何が介護サービスにて必要か見極め、状況に応じ他のサービス利用を紹介している。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	可能な方は入居前に本人様にホームに来て頂き、おやつを他入居者と召し上がって頂いたり徐々に馴染めるよう工夫している。又、入居当初はご家族の方へ可能な限り面会に来て頂ける様に本人様の不安軽減に努めている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価6項目・外部評価1項目	1	
係り と こ れ ま で の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	なじみの人間関係の構築ができている。上げ膳据え膳でなく、利用者と共に暮らしを上げていくという意識があり、ケアにも生かされている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の方へ行事の参加であったり、本人が家族には遠慮し言えない要望を代弁して伝えたりし、一緒に本人様を支えていくという家族との関係構築ができています。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人様と家族との関わりについて入居前より情報を集め、入居後もかわらぬ親子関係が持続できるよう支援している。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族にご協力を依頼し、なじみの環境が途切れない様に支援している。	1	本人の趣味などにおいてはホームにおいても提供できるが場所や人物（家族以外）においては人間的にも提供は困難な状況である。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事や余暇活動において他のお客様とのコミュニケーションの機会を提供している。現在、各利用者同士のなじみの関係、役割も構築できている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後も継続的な関わりが必要な家族においては連絡を取り合ったりし相談に応じている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	3	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様の立場に立って考えケアを行っている。又、アセス情報にて本人様の歩んでこられた人生、家族の話などから本人様の意向の把握ができるよう努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントや入居後も家族からの情報を集め、本人様の今までの人生に触れることができるよう把握に努めている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	各利用者の日々の暮らしを介護記録に記入しカンファレンスなどにて総合的に職員が把握できるように努めている。又、ケアカンファに活用している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアカンファにおいての職員の意見と本人様の希望、ご家族の希望などにて介護計画を作成している。	0	
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に見直しを行うと共に、必要に応じてはカンファレンスを開き随時、計画を作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録に個別に記録を行い、情報共有を図りながら介護計画書にも反映させ活用している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じてグループホームの人員やグループホームにて行うことが可能なことには柔軟に対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	3	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの受け入れや避難訓練など地域資源と協力しながら暮らしを提供している。	0	
	4		本人がより良く暮らし続けるためのケアマネジメント			
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の状況、意向、必要性に応じては他のサービスを利用するための支援をしている。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		1	地域包括支援センターとの関わりは運営推進会議などでしかないため、協働を図りたい。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関を持っている。定期的に往診を受けられるように支援したり、通院介助を行い支援している。又、受診必要時は受診支援を行っている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携医療機関は、いずれの医師も認知症に詳しいため状況に応じ指導・助言を仰いでいる。	0	
	47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者のかかりつけ病院の看護職に必要時は報告を行ったり指導を仰いでいる。	1	H19年10月までは医療連携体制を整備していたが会社継承に伴い解約となったため、現在、新たな契約先を選定している。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	日頃より各利用者とのかかりつけ医との情報交換は行い連携を図り、早期退院に向けた調整を行っている。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ケアプランの立案や見直し時期において家族・本人と話し合い方針の共有を図っている。	1	ご家族においては、
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者の主治医、医療機関の体制、家族と本人の希望などの観点から終末期に向けた支援を行っている。過去の事例とし、ホームにて看取りを行ったお客様がいる。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	グループホームから別の空間へ移られる際は受け入れ施設などへの情報提供を行っている。在宅復帰された場合は家族に状況報告を行い、退去後も相談を受け入れている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	10	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	10	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人記録物はイニシャル表示を行い個人情報の漏洩に努めている。	1	申し送りは別室にて行う様にしているが、時折り、共有スペースにての申し送りがされていることもあるので徹底を図りたい。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者のコミュニケーション力に応じての問いかけや自己決定できるように日々の暮らしの場面の中で常時、働きかけている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望に添った生活、利用者の生活リズムを考慮しながら暮らしの場面作りを支援している。	1	暮らしの中の全ての場面において利用者の希望に添って支援しているとは断言はできない。状況により、職員優先にて生活の流れを誘導したりする日もある。利用者と共に暮らしを作るといった観点の職員の意識づけを徹底したい。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	2	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問理美容を利用している。ヘアカラーを希望される方、パーマを希望される方も対応できている。又、ネイルアートを行ったり、外出時には化粧の支援をしたり支援している。又、現利用者の中で個人希望の店がある方はおられない。	1	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は旬なものや召し上がることができるよう工夫されている。又、利用者の希望メニューを取り込んでいる。食事準備や片付けなど、利用者と共に行うことができている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者と喫茶に行き、召し上がりたいものを選んでいたり、喫煙希望の方は職員が火の管理をし支援したりしている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各利用者の排泄リズム表に排泄状況を記録している。声かけにてトイレ誘導したり気持ちよく排泄できるよう支援している。夜間のオムツ利用者はいるが、日中のオムツ利用者はいない。	0	
59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴剤を利用したり、端午の節句には菖蒲湯を行ったり入浴を楽しめるように支援している。	1	職員の都合にて入浴日を決定している傾向がある。利用者に尋ね、希望がある時は可能な限り入浴を行い支援していきたい。(利用者の体調が万全な時は)		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1回/毎週のリネン交換や布団を干したりし清潔な寝具提供を支援している。介助が必要な方は眠気がきてから臥床介助を行ったりし支援している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	3	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	気分転換の機会を提供したり(個別の散歩や喫茶、買い物など)レクリエーションを行ったり支援している。	1	利用者個人の個別のボランティアを利用し、(希望者には)楽しみごとを増やせるよう支援していきたい。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望に応じて買い物に行っている。金銭はホームで管理しているが、要望のある方は個人での金銭管理を支援している。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の生活の中で個別に喫茶に行ったり、散歩に行ったり、食材の買出しにお誘いしたり日常的に戸外にでれるよう支援している。	1	毎日の買い物や遠方への外出を希望されてある方がおられるが、人員配置などの観点からも全ての希望に添うことは困難であるため、家族の協力を図り支援していきたい。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族に協力依頼を行ったりしている。又、近隣であれば希望に添えるよう出かけたりし、外出支援を行っている。	1	各利用者の行ってみたい場所の把握に努め、実現できるよう支援できるよう体制
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や電話の希望時はホームの電話を利用して頂いたり、取り次いだりしている。手紙に関しても郵便局に同行したりし支援している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	玄関は常に開錠し気軽に訪問できるようにしている。又、面会に来られた際は笑顔で挨拶しお茶にておもてなしをし配慮している。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	3	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については勉強会を開催したため理解できている。又、運営者は日々のケアにて身体拘束にあたる部分はないか状況確認している。	0		
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム玄関・ユニットの玄関共に、開錠している。鍵をかけないケアの実践に取り組んでいる。(安全面配慮にて20:00~7:00までは施錠している)	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	24hの生活の場面において利用者の所在確認を常に行い安全面を配慮している。	1	スタッフ間の伝達ができおらず、外部徘徊発生の事故があった。再度、職員の意識づけを図り安全面の徹底を図りたい。	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品は利用者の状態に応じて保管・管理している。又、火気な品物についてはホームで管理している。	0		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	朝礼時の誤薬撲滅4則の唱和を行い意識づけを行っている。又、事故の事例から対策を考え再発防止に努めている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命講習の受講を職員は済ませている。又、急変時の対応は個々のお客様にてマニュアルを用意し周知できている。	1	新入社員は救命講習未受講者がいるので早急に受講を勧めよう考慮している。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の方々には天災時の協力依頼を行っている。又、避難訓練を行い災害対策に努めている。	1	防火管理者講習未受講のため早急に受講を済ませたい。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	介護計画書の提示の際に毎回、リスクについては説明している。事故回避できるよう環境整備を整えたり抑制することで事故回避しないように対応策を話し合っている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタル測定を行い記録に残し、異常時には主治医への報告を行い早期発見に努めている。必要時は受診を行っている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各利用者の内服薬の処方箋の確認を職員は行っており副作用についても理解できている。個人の薬は個別に管理している。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	献立表には乳製品や食物繊維を多くとりいれ便秘予防に努めている。水分摂取量を確認し記録に残している。又、毎朝のラジオ体操を習慣的に行い腸の活性化に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを促し行っている。夜間は毎日、義歯洗浄を行っている。	0	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各利用者の食事量/水分量を確認し記録に残している。又、摂取量が少ない利用者にはゼリーで補給したり高カロリーなもので補給したりし支援している。	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防マニュアルがあり、感染対応を職員は周知し実行している。	0	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	キッチン衛生点検表に基づき、衛生管理を行っている。又、記録に残している。週に2、3回は買い物に行き食材をため込まないようにし安全な食材使用と管理に努めている。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には植物を置き、建物は暖色系で統一し出入りしやすいよう配慮している。又、玄関にはスロープや手すりを作り安心して出入りできるよう配慮している。	0	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明については目に優しいものを利用し、共用空間については利用者の視線の高さにて居心地よく暮らせるよう工夫している。又、季節折々の掲示物作成し掲示している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室を利用して頂いたり、リビングに用意している談話席を利用して頂いている。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時になじみのある家具を持ってきていただく様に働きかけ、本人が居心地よく過ごせるよう配慮できている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに実行している	毎朝の喚起を行い、においがこもらないように適度に喚起を行っている。温度調節は外気温との差が+ - 3 にて管理している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部には手すりを設置し一人一人の身体機能を最大限活用できるように環境作りに努めている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各利用者の個々の力を把握した上で働きかけを行っている。混乱を回避するため、浴室やトイレなど分かりやすいように案内表示を掲示している。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	家庭菜園を作ったり、季節の植物を育てたりし利用者が楽しんだり活動できるよう配慮している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。